



どうやって「えっ？」を引き出そうか

(2年1組の) 予定より1時間遅れで、「たし算とひき算の筆算」の単元に入りました。第1時の流れです！

1 大切にしたいと思ったこと

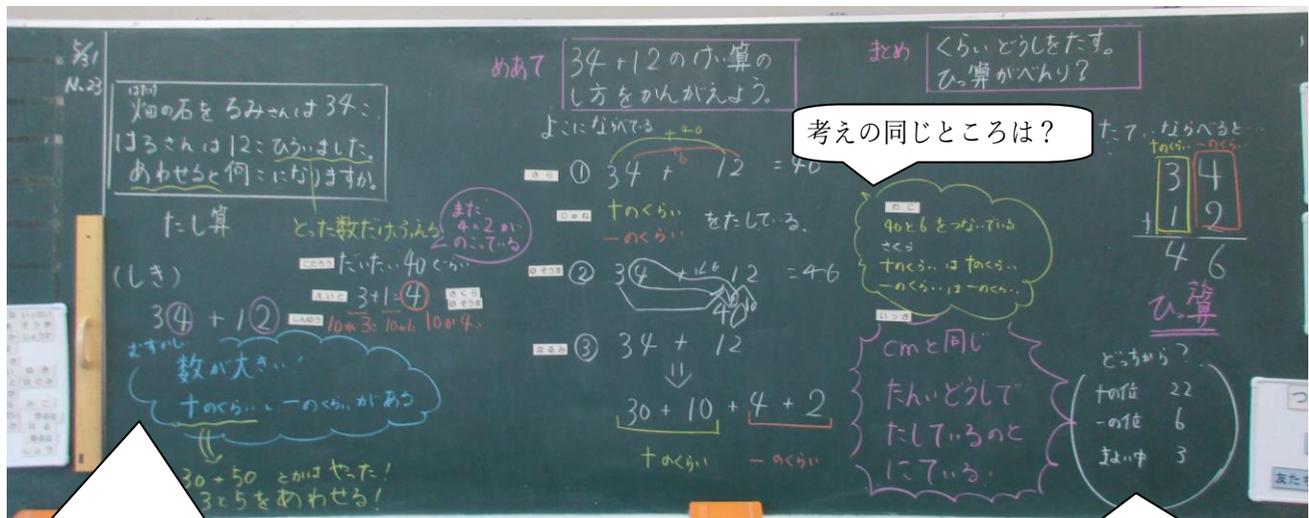
第1時と第2時を考えた時、「第2時にどう問いをつなげるか？」を考えました。そして、繰り上がりがあることに対し、「えっ？」という反応を自然な形で出したいと思いました。

そこで、第2時の最初に、筆算の問題作りをすることに決めました。問題作りを通して、「難しい」を引き出し、「なぜ難しいのか？」を検討することで、繰り上がりがあることに気付かせ、「繰り上がりがあるから、筆算は一の位から計算する」という知識を身につけさせたいと思いました。

2 本時(第1時)について

第2時に「筆算は一の位からする」を身につけるためには、本時の終末で「どの位から筆算の計算をするか？」を問いたいと考えました。そのために展開では、位に注目することが必要不可欠です。教科書では、すぐに筆算の手順を教え、このときに、「一の位から計算する」と載っています。そして、筆算の定着をねらっています。ただ、今回は筆算の定着を第2時の導入で行うことにして、 $34 + 12$ の計算の仕方をじっくり検討することにしました。このことを通して、「位同士を計算する」という、大事な知識を定着させたかったからです。

板書



「むずかしい」というつぶやきに対して「どこがむずかしいの？」と問いました。

終末で、学習を振り返った後「筆算はどっちの位から計算するの？」と聞くと…。明日が楽しみです♪